

Welcome to the  
**HIACE WORLD!**

アルファード・ヴェルファイアから  
乗り替えが多いってホント!?

switch!



世界サイコーの贅沢車!

# ハイエースが スゴイんです!

ハイエース専門誌スタッフ&専属ライターが斬るハイエースの魅力に迫る企画。本誌読者にとっては、なじみがないであろうハイエースだけど、街なかではモデル末期とはいえ非常に遭遇率が高いのはなぜか? 「なぜ売れているのか?」、「なぜ普通の人ミニバン代わりに乗っているのか?」そんな不思議な魅力をレポートする!

※年間生産台数18万台(うち国内向け4割=7万2000台)

レポート●大谷英樹 撮影●ウイズ・フォト



HIACEは荷物だけじゃなく  
夢もライフスタイルも  
積んじゃいます♪



【試乗車両】  
**FLEX Dream FD-BOX5T**

ミニバンを凌ぐ使い勝手はマルチに使える“8人乗り”のスーパーGL



200系にはミニバンのように使えるワゴンが存在しない(100系にはあった)。そこで4ナンバーのままロングスライド+フルフラットになるベッドモードなど、シートアレンジが多彩でワゴンのように使える8人乗りのスーパーGLが、フレックス・ドリームのコンパクトカー「FD-BOX5T」だ。荷室のシートはハイエース用として有名なREVOシートを2・3列目シートとして採用。ベッドモードでもシート下には空間があるから荷物の積載能力も十分あり、車中泊を余裕でこなせる。オプションも多彩で、サブバッテリー&FFヒーターを装備すればウインターシーズンの車中泊も快適だ。369万円。



車中泊だって快適なフルフラットベッドに!  
↑最後にベッドメイク専用のマットを備えており、荷室に広大なフルフラットのベッドスペースが広がる



取材協力SHOP  
フレックス・ドリーム  
ハイエース 湘南厚木店  
神奈川県厚木市戸田1280-1  
☎046-258-6480  
https://www.flexdream.jp  
○営業時間:10時~20時  
○定休日:水曜日



3列目シートありでも足元広々!! 多人数の移動も1台でOK  
↑左側の写真はスーパーGL、右はフレックス・ドリームのFD-BOX5T。ロングスライド機構を持つ2列目、3列目シートを備えておりミニバン感覚で使える

【ハイエース・シーン別  
万能スタイル】

ショッピング



↑積載能力を乗用車と比較したら失礼にあたるというものの。大型、長尺モノだって躊躇なくもち帰し可能

車中泊



↑シートを跳ね上げてフロアへじかに寝そべてもいいし、市販のベッドキットを使えば快適に車中泊できる

マリンスポーツ(アウトドア)



↑広々ラゲージはアウトドアスポーツにも最適。実際にサーファーの間ではハイエースは大人気

ライバル車 CHECK!!

ハイエースの牙城を崩す装備と乗り心地

200系の登場で影が薄くなったキャラバンも負けていない。ライバルを研究しただけあって2012年に登場したNV350キャラバンは、装備、乗り心地の面でいっそうワゴン感覚に近いモデルとなった。標準ボディ、ワイドボディを選べる点もハイエースと同じ。最上級グレードはプレミアムGXで、オートテックジャパンが手がけるライダーも用意されている。



NISSAN  
NV350CARAVAN  
↑モダンなインテリアはワゴンを思わせる。プッシュエンジンスターターの採用はキャラバンの方が早かった

荷物を積んで走るハイエースのキャラクターに合せているのかもしれないが、反対にシフトダウンは小気味良く素早く切り替わる。いろいろと試してみたところ、マニュアル操作でシフトアップする場合は、アクセルをいったん戻せばつながりがいいと感じた。また早めに6速へギヤを入れると静かに走れる。以前試乗したディーゼルも同様、ガソリン車も車内に伝わるロードノイズ、エンジン音は大きめだから効果的。

さて、6速AT以上に気に入ったのが乗り心地。運転席&助手席はタイヤの真上だから特有の縦揺れはあるものの、いたってソフト。2列目は特等席を思わせるほど快適で、全体としてミニバンの雰囲気。ちなみに試乗車は2000ローダウンしているがそれを感じなかった。

と、ここまで書いて、これってバッドだったと気づく。スーパーGLは完全にワゴン感覚で乗れるゾ!!

繁栄ニッポンの経済を支える商用バンも  
今どきは先進&快適装備がテンコ盛り!!

**スマートエントリー&スタートシステム**  
↑キーレスのボタンタッチで施錠・解錠、プッシュスタートスイッチというトヨタ車では当たり前の装備も

**マルチインフォメーションディスプレイ付き  
オフティロンメーター**  
↑平均燃費はもちろん、航続可能距離だって表示してくれるからアリガタイ装備だ

**LEDヘッドライト**  
↑全車にメーカーオプションであるLEDヘッドライトだって選べる。点灯したところがカッコイイ!!



TOYOTA HIACE SUPER GLベース  
FLEX Dream FD-BOX5T

ハイエース専門店の試乗車で  
走り&使い勝手を検証!

もはや「ミニバンの一歩手前まで来た!」と  
いえるハイエースの走り&居住性!

■主要諸元表

グレード	トヨタ ハイエース バン スーパーGL 標準ボディ 2WD
全長×全幅×全高 (mm)	4695×1695×1980
荷室長×荷室幅×荷室高 (mm)	3000×1520×1320
ホイールベース (mm)	2570
車両重量 (kg)	1770
最大積載量 (kg)	1000
エンジンタイプ	直4DOHC
総排気量	1998
最高出力 (kW[ps]/rpm)	100 [136] / 5600
最大トルク (N・m[kg-m]/rpm)	182 [18.6] / 4000
トランスミッション	6速AT
JCO8モード燃費 (km/ℓ)	10.2
タイヤサイズ	前/後 195/80R15
価格 (万円・税込)	285.6109

MT操作を積極的に活用して元気に走れる6ATで魅力向上

現行のガソリン車が6速ATとなつた。「6速なんて何を今さら」だが、これまで4速ATのみだったハイエースにとって画期的な出来事だ。燃費改善(エコカー減税対象車に!)が主目的だが、6速AT化でマニュアル操作できる機能を備えたのは魅力的。標準ボディのガソリン車は、パワーとトルク不足が否めない2.7ℓであり、ワイドボディでも2.7ℓの排気量ゆえに、6速を上手に使ってもちよく走れそうだが、ここで試乗を。となつたのだが、ディーラーでも数少ない試乗車をハイエース専門店が用意してくれた。それも、足まわりやインテリアをカスタムしたコンパクトカーだ。試乗車は17インチのホワイトレタータイヤ+ローダウンしたスタイリングのスーパーGL(標準ボディ)。乗車定員が8名という仕様が市販のスーパーGLと大きく異なる点だ。

**プッシュ式  
フロントオートエアコン**  
↑スーパーGLはフロントエアコンも今どきのプッシュボタン式のオートエアコンで操作性が高い

**ステアリングスイッチ**  
↑オーディオの音量調整だってステアリングで行なえる。スーパーGLは限りなくワゴンに近づいている

**シーケンシャルシフト  
マッチック付き6速AT**  
↑既存ユーザーからも注目度が高い6速AT。マニュアル操作できる点が4速ATと異なる点だ

今度マニュアルで操作してみると、1速から2速は上のギヤに切り替わるまで一瞬だがタイムラグがある。今どきのCVTのマニュアル操作感と比較すると、これは遅め。